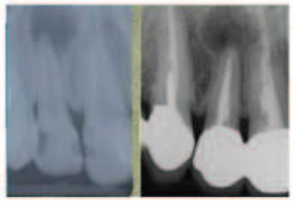
一歩一歩ぼちぼちと

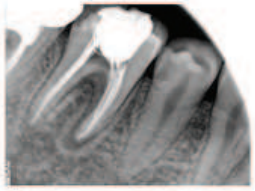
歯科治療は
最小限に
少しずつ
少しずつ
が大切だよ

自然の歯は
6歳臼歯、
12歳臼歯と
時間を掛けて
体全体で
バランスを
取りながら
生えてきます。
歯科治療は
いちどに
いじらない事が
大切

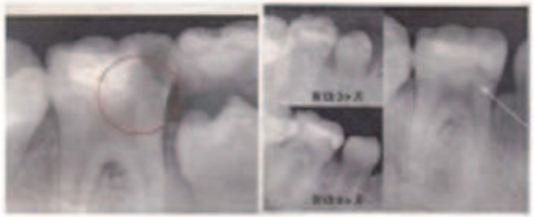
１本歯を削ればその歯に加わっていた５０キロ近くの力が他の歯に移動します。
２本削れば二本分の歯に加わっていた力が他の歯に移動し歯にも顎にも
骨にも体にも問題を起こします。歯医者に掛かれば掛かるほど、かみ合わせが
不安定に成り、歯も体も駄目になります。

悪く悪く考えて
先に先にと
神経を取ったり
歯を大きく大きく
削っていくと
歯は直ぐに無くなって
しまいます
歯科医療は
控えめ
最小限が一番





１ヶ月も２ヶ月もかけ、５万１０万とお金をかけ
根の治療をして、金が良いよ、セラミックが良いよと
１０万円も２０万円もかけ、歯を更に大きく削り被せても
膿を持つこともある。歯を大きく削れば、噛み合わせも体のバランスも変わる
根の再治療で骨の方に穴を開けて抜くようになる場合も或る



歯は歯の根の先の針の穴のように細い穴から血液その他が供給される弱い組織です。
頭をぶつければ「たんこぶ」が出来て外に腫れられるのですが歯の場合は炎症があって
腫れようとしても周りが硬い組織なので腫れることが出来ず逆に内側に向かって
圧迫が起こる為、ぶつけただけでいつの間にか神経が死んでいたと言う事もあります。
歯科治療は歯の特殊性を考慮し、歯の気持ち、命の警報器に耳を傾けながら
最小限に行うことが大切です